

## プログラムNo.5:「天水稲栽培・種子生産及び品種選定技術」コース プログラム概要票

## 1. 基本情報 \*講師や諸般の都合により、プログラム内容が変更になることもあります。予めご了承願います。

1) 研修コース名:	天水稲栽培・種子生産及び品種選定技術
2) 担当者名:	松井 駿 (研修コース委託先業務総括: 浦山氏)
3) 期間(日数):	8月31日(月)~9月4日(金)5日間
4) 定員:	受入人数4人程度
5) 言語:	英語(実施内容を英語で理解できること) (※目安 TOEIC 550点以上程度)
6) 主な対象学生:	生物学系、農学系、開発学(但し、農業に係るフィールドを基礎)関係の学部3年生以上及び大学院生が望ましい。
7) 研修員の出身国:	フィリピン(1)、パプアニューギニア(1)、エチオピア(1)、ガンビア(1)、マラウイ(1)、ザンビア(1)、カメルーン(1)、コートジボワール(1)、モザンビーク(1)、セネガル(1)、ジンバブエ(1) ※ () 括弧内は人数

## 2. コンテンツ

本プログラムの目的	アフリカのネリカ稲(NERICA)を含む稲の栽培、種子生産、品種選定について学び、コメ生産を通じてアジア・アフリカ地域の貧困問題、食糧の安定供給について考えます。
-----------	---

## 日程表

No	日付	曜日	時間	テーマ	形式	概要
1	2026/8/31	月	09:00-09:25	プログラムオリエンテーション		関係者紹介、プログラム説明、諸連絡等
			09:45-12:15	共通実験2:優良種子純度淘汰試験調査 抜き取り	実習	種子生産圃場における同一品種ではない異形、混ざり品種の抜き取り
			13:30-16:00	共通実習1:純系統及び原原種圃場収穫1	実習	純系統及び原原種種子の収穫作業
2	2026/9/1	火	09:45-12:15	見学:茨城県農業振興公社4	見学	日本の稲種子生産システムについて
			13:30-16:00	共通実験:品種比較試験調査(6)	実習	稲の品種登録に関わる品種特性の調査
3	2026/9/2	水	09:45-12:15	日本の稲の品種改良2	講義	日本の稲の品種改良(育種)技術と歴史について
			13:30-16:00	グループ実験1:窒素施肥量試験収量調査	実習	実験圃場での収量調査
4	2026/9/3	木	09:45-12:15	NERICAの特性と品種改良1	講義	NERICAの特徴とこれまで実施されたIBICでの実験・実習の結果について
			13:30-16:00	グループ実験1:窒素施肥量試験収量調査	実習	実験圃場での収量調査
5	2026/9/4	金	09:45-12:15	NERICAの特性と品種改良2	講義	NERICAの特徴とこれまで実施されたIBICでの実験・実習の結果について
			13:30-16:00	筑波大見学:玄米品質調査	見学	コメの品質評価方法について
			16:15-17:15	プログラムの振り返り		国際協理解講座のプログラムを体験した結果を発表

## 3. 留意事項

- ・上記日程表は現時点での案であり、今後変更の可能性があります。
- ・実験・実習がありますので、身軽で汚れても良い服装と靴を準備してください。
- ・開始時間には、時間厳守で集合してください。終了時間は、作業の関係で遅れることがあります。

## 4. 学生さんへ一言

- ・諸国を代表する研修員とのコミュニケーションを積極的に取っていただき、楽しく実りあるプログラムであると同時に、途上国の技術者等への指導業務について、知っていただく機会にしたいと思えます。アフリカが抱える食糧問題について皆で考えてみましょう。
- ・英語でのコミュニケーションになりますが、積極的な参加をお願いします。
- ・自然科学系の内容ですが、食糧生産に関心の高い社会学系(開発系)の方の応募も受け付けます。

## 5. その他

- ・参加者には、事前に研修員各国の概要など目を通していただければと思います。各国の現状(気候条件や畑作物の作付状況等)や研修員が抱える課題を理解し、関心をもった内容について、講座中はぜひ研修員と積極的に意見交換をしてみてください
- ・実験・実習は畑地が主ですが、小規模な水田(原原種種子生産用)での作業も若干あります。